



施設名

雲仙天草国立公園『平成新山ネイチャーセンター』

物件概要

施工場所：長崎県島原市

施工年月：平成14年11月

発注者：長崎県民生活環境部

施設概要：便器8器

事務所58.5㎡

工事名：垂木台地園地建築工事

施設紹介

『平成新山ネイチャーセンター』は、普賢岳噴火で生れた平成新山をととても間近で観察できるとともに、普賢岳噴火災害によって荒廃した垂木台地の自然環境の回復の様子を直接観察し、学べる自然観察・学習施設です。島原半島ジオパークとして2009年8月に世界ジオパークに認定されております。

仕様

システム：ソフィール

建物用途：公衆便所128人槽、事務所4人槽

人槽：132人槽

汚水量：6.7㎡/日

処理水：循環利用

1次側電源：商用AC100V



平成新山

採用のポイント

本計画では国立公園内の事業であることから処理水の再利用方式が検討され、比較検討の結果、消費電力が少なくランニングコストが安いソフィールが採用されました。

ネイチャーセンターの電気は屋根に設置したソーラーシステムにより供給されております。

実績写真



平成新山ネイチャーセンター



土壌浸潤槽